



(財) 財務会計基準機構会員



## 2015年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2014年10月3日  
東

上場会社名 株式会社コックス 上場取引所  
 コード番号 9876 URL <http://www.cox-online.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉竹 英典  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 速水 英樹 (TEL) 03 (5821) 6070(代)  
 四半期報告書提出予定日 2014年10月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2015年2月期第2四半期の連結業績 (2014年3月1日～2014年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2015年2月期第2四半期	11,092	1.4	5	—	107	—	△132	—
2014年2月期第2四半期	10,944	—	△719	—	△613	—	△756	—

(注) 包括利益 2015年2月期第2四半期 △296百万円 (—%) 2014年2月期第2四半期 △90百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2015年2月期第2四半期	△4.80	—
2014年2月期第2四半期	△27.43	—

(注) 2014年2月期第2四半期は、決算期変更により前期と比較対象期間が異なるため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2015年2月期第2四半期	19,783	12,949	65.4
2014年2月期	20,995	13,245	63.1

(参考) 自己資本 2015年2月期第2四半期 12,943百万円 2014年2月期 13,239百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2014年2月期	—	—	—	0.00	0.00
2015年2月期	—	—	—	—	—
2015年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2015年2月期の連結業績予想 (2014年3月1日～2015年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,100	△2.7	20	—	190	—	△250	—	△9.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規\_\_\_\_社(社名)、除外\_\_\_\_社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2015年2月期2Q	27,711,028株	2014年2月期	27,711,028株
2015年2月期2Q	139,003株	2014年2月期	138,773株
2015年2月期2Q	27,572,158株	2014年2月期2Q	27,572,452株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高110億92百万円（前年比101.4%）、営業利益5百万円（前四半期は営業損失7億19百万円）、経常利益1億7百万円（前四半期は経常損失6億13百万円）、四半期純損失は、減損損失1億77百万円の特別損失計上により1億32百万円（前四半期は四半期純損失7億56百万円）となりました。

また、当第2四半期累計期間の国内事業単体業績は、売上高109億76百万円（前年比101.4%）、営業利益44百万円（前四半期は営業損失6億65百万円）、経常利益75百万円（前四半期は経常損失5億98百万円）、四半期純損失1億35百万円（前四半期は四半期純損失7億36百万円）となりました。

当第2四半期累計期間は、連結業績・単体業績ともに増収増益となり、営業利益・経常利益については黒字転換致しました。

国内事業においては、当期重点施策である3つの構造改革「事業構造改革」「MD構造改革」「コスト構造改革」に取り組み、第1四半期に続き成果を上げました。

「事業構造改革」については、基幹ブランド「i k k a」の収益力回復を目指し、「メンズ強化」と「レディースの復活」を進めてまいりました。「メンズ強化」については、テーラードジャケットを軸としたビジカジテイスト商品、単価の高いビジカジ系バッグ、革小物等の雑貨商品を引き続き強化しました。また「レディースの復活」については、カジュアルテイストにきれい目アイテムを加え、テイストを拡大してまいりました。これらの取り組みが寄与し、「i k k a」の当第2四半期累計期間売上高前年比は109.9%、既存店売上高前年比は102.4%となりました。さらに新業態「i k k a LOUNGE」については、2013年12月のイオンモール幕張新都心出店に続き、2014年3月には日本最大級のファッション通販サイトZOZOTOWNに出店、同月イオンモール新潟南に改装オープンし、計画以上の進捗で推移しております。

「MD構造改革」については、商品回転日数の向上と売価変更削減による売上総利益率改善を目指しました。商品のきめ細かな展開と鮮度維持に努めた結果、正価販売比率（前年差16.9ポイント改善）・売価変更率（同4.7ポイント改善）・商品回転日数（同9.9日改善）が好転し、売上総利益率は前年差1.9ポイント改善となりました。特に8月度においては、販促を2度に分けたMD計画に基づき、夏の新作を継続的に投入したことがお客さまの支持に繋がり、既存店売上高前年比114.8%まで伸長しました。

「コスト構造改革」については、不採算店舗閉鎖や人件費コントロールを柱に進めた結果、販管費前年比は93.4%となり、損益分岐点売上高引き下げに寄与しました。

中国事業においては、中国経済の成長鈍化もあり、直営小売事業は計画と乖離する状況が続いておりました。これを受けて、第2四半期末時点で直営2店舗まで縮小しました。今後は直営小売事業から、堅調に推移する商品供給事業へシフトする新たなビジネスモデルを構築してまいります。

店舗展開面については、国内において6店舗を新規開設し、不採算店舗を中心に国内30店舗、中国直営12店舗を閉鎖した結果、当第2四半期末店舗数は、国内262店舗、中国直営2店舗となりました。

当社は中長期戦略として、「シニアシフト」と「デジタルシフト」を推進しております。

「シニアシフト」については、40代から50代をメインターゲットとし、テーラードジャケットを基軸とするビジカジテイストファッションブランド「GRAND PHASE（グランフェイズ）」を「i k k a」全店に展開し、売上高を拡大しております。

「デジタルシフト」については、店舗とネット通販共通の新ポイントサービス「COX MEMBERS CLUB」を導入すると同時に、ポイントサービスにも連動したスマートフォン用「コックスファッションアプリ」もスタートしました。さらにWEB上でのショップブログの投稿やスタッフコーディネート提案を通じて店舗送客を強化する等、オムニチャネル化を進めております。

第3四半期以降は、当第2四半期までに成果を上げた「事業構造改革」「MD構造改革」「コスト構造改革」を継続強化し、収益改善基盤作りを推進いたします。さらに欧米セレクト商品の拡充やインバウンド対応（外国人観光客取り込み）強化等、新たな施策も実行してまいります。これらを通じ、年初に掲げた通期業績予想数値の達成を目指してまいります。

※ 国内店舗数カウント方法の変更について

前期末まで、同一区内における複数ブランド展開の店舗については、それぞれ個別の店舗カウントによる管理を実施していましたが、今期首より一括管理を実施しております。このカウント方法の変更により、今期首の店舗数は312店舗から286店舗（26店舗減少）となります。

	期首 店舗数	第2四半期累計		第2四半期末 店舗数
		新店	閉店	
当第2四半期	286	6	30	262
前第2四半期	299	15	22	292

（注）前第2四半期の店舗数に関しては、当期の店舗数カウントに置き換えて算出しております。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億11百万円減少し、197億83百万円となりました。増減の主な内容は、売上預け金が6億71百万円増加し、たな卸資産が4億43百万円、関係会社預け金が8億40百万円、投資有価証券が2億38百万円、差入保証金が2億50百万円減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ9億15百万円減少し、68億34百万円となりました。増減の主な内容は、支払手形及び買掛金・電子記録債務が8億22百万円減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億96百万円減少し、129億49百万円となりました。増減の主な内容は、利益剰余金が1億32百万円、その他有価証券評価差額金が1億54百万円減少したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、9億5百万円減少し、38億48百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は、6億49百万円（前年同四半期は8億89百万円の減少）となりました。その主な増加の内訳は、非資金費用である減価償却費2億81百万円、たな卸資産の減少額4億43百万円等によるものです。減少の主な内訳は、売上債権の増加額7億31百万円、仕入債務の減少額8億22百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、2億46百万円（前年同四半期は8億26百万円の減少）となりました。その増加の内訳は、差入保証金の回収による収入1億75百万円であります。減少の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出2億92百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、単元未満株式の買取請求による自己株式の取得によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2015年2月期の業績予想については、2014年4月8日の決算発表時に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2014年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	614,518	548,800
受取手形及び売掛金	76,524	72,686
売上預け金	603,229	1,275,002
たな卸資産	2,317,079	1,873,909
未収入金	179,466	352,404
関係会社預け金	4,140,000	3,300,000
その他	201,411	228,479
貸倒引当金	△383	△680
流動資産合計	8,131,846	7,650,602
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,762,973	1,597,525
その他（純額）	113,992	90,444
有形固定資産合計	1,876,966	1,687,970
無形固定資産		
投資その他の資産	55,762	37,678
投資有価証券	7,629,894	7,391,660
差入保証金	3,141,537	2,890,775
その他	165,449	130,052
貸倒引当金	△6,139	△4,978
投資その他の資産合計	10,930,742	10,407,510
固定資産合計	12,863,471	12,133,159
資産合計	20,995,317	19,783,761
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	999,089	961,914
電子記録債務	2,464,588	1,679,540
未払法人税等	161,294	89,532
賞与引当金	43,670	85,221
役員業績報酬引当金	—	10,700
店舗閉鎖損失引当金	54,310	53,430
ポイント引当金	5,043	9,468
資産除去債務	41,165	22,780
その他	1,173,996	1,195,819
流動負債合計	4,943,158	4,108,408
固定負債		
退職給付引当金	257,406	264,397
繰延税金負債	1,847,235	1,760,721
資産除去債務	692,257	699,410
その他	9,273	1,110
固定負債合計	2,806,172	2,725,639
負債合計	7,749,330	6,834,048

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2014年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,503,148	4,503,148
資本剰余金	7,605,084	7,605,084
利益剰余金	△2,315,377	△2,447,660
自己株式	△59,541	△59,584
株主資本合計	9,733,314	9,600,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,454,285	3,299,909
為替換算調整勘定	51,696	42,124
その他の包括利益累計額合計	3,505,981	3,342,034
新株予約権	6,690	6,690
純資産合計	13,245,986	12,949,713
負債純資産合計	20,995,317	19,783,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)
売上高	10,944,544	11,092,609
売上原価	5,218,335	5,083,197
売上総利益	5,726,208	6,009,411
販売費及び一般管理費	6,445,777	6,004,063
営業利益又は営業損失(△)	△719,568	5,348
営業外収益		
受取利息	5,159	3,534
受取配当金	91,240	97,953
為替差益	1,974	—
雑収入	8,952	3,714
営業外収益合計	107,326	105,202
営業外費用		
為替差損	—	2,641
雑損失	1,162	785
営業外費用合計	1,162	3,426
経常利益又は経常損失(△)	△613,403	107,124
特別損失		
減損損失	78,345	177,030
特別損失合計	78,345	177,030
税金等調整前四半期純損失(△)	△691,749	△69,905
法人税、住民税及び事業税	64,514	65,032
法人税等調整額	△68	△2,655
法人税等合計	64,446	62,377
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△756,196	△132,282
四半期純損失(△)	△756,196	△132,282

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△756,196	△132,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	639,024	△154,375
為替換算調整勘定	26,774	△9,571
その他の包括利益合計	665,798	△163,946
四半期包括利益	△90,397	△296,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△90,397	△296,229
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2013年3月1日 至 2013年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△691,749	△69,905
減価償却費	337,461	281,879
減損損失	78,345	177,030
賞与引当金の増減額 (△は減少)	46,431	41,551
役員業績報酬引当金の増減額 (△は減少)	10,658	10,700
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,066	△879
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	21,421	6,991
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,942	△864
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△1,645	4,425
受取利息及び受取配当金	△96,400	△101,487
為替差損益 (△は益)	△1,974	2,641
売上債権の増減額 (△は増加)	△423,235	△731,085
たな卸資産の増減額 (△は増加)	504,444	443,169
仕入債務の増減額 (△は減少)	△618,065	△822,222
その他	△17,213	138,670
小計	△855,530	△619,386
利息及び配当金の受取額	97,682	101,798
法人税等の支払額	△138,939	△131,880
その他	7,328	84
営業活動によるキャッシュ・フロー	△889,458	△649,383
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△735,106	△292,811
無形固定資産の取得による支出	△23,047	△32,901
差入保証金の差入による支出	△86,213	△26,112
差入保証金の回収による収入	152,809	175,271
その他	△134,860	△69,839
投資活動によるキャッシュ・フロー	△826,417	△246,393
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△19	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19	△43
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,413	△9,897
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,699,482	△905,717
現金及び現金同等物の期首残高	6,102,465	4,754,518
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,402,982	3,848,800

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2014年3月1日 至 2014年8月31日)

該当事項はありません。